

事務事業名		自衛官募集事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	0:9: 関連する政策なし			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 11 02
	施策名	9:9: 関連する施策なし				
	基本事業名	8:8: 法令準拠事務				
根拠法令		自衛隊法97条第1項			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和36 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入	
所 属	部課名	総務部総務課				
	係 名	行政文書係	電話 内線	0192-27-3111 235		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 自衛官募集にあたり、広報紙や新聞等により必要な広報を行う。自衛隊関係機関等と連携を図りながら、自衛隊活動に協力するとともに、自衛隊に対する市民の理解を深めるため、艦艇広報等を実施する。						全体計画 (期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 自衛官募集記事の広報等への掲載、自衛隊入隊者激励会への出席、大船渡自衛隊協力会との連携ほか 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 自衛官募集記事の広報等への掲載、自衛隊入隊者激励会への出席、大船渡自衛隊協力会との連携ほか		名称 ア 広報、新聞等への募集記事掲載回数 イ 艦艇広報等広報関係行事の開催 ウ	単位 回 回
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民、市内自衛隊二等陸・海・空士適齢者 (18歳以上27歳未満)		名称 カ 市の人口 キ ク	単位 人
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 自衛隊活動に積極的に協力し、自衛隊への理解を深めてもらうとともに二等陸士等の募集人員を確保する。		名称 サ 市内在住自衛隊入隊者数 シ ス	単位 人
結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 自衛隊入隊者の増加に寄与する。			

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円	29	108	115	38	38	32
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	0	1	17	0	51	1
	事業費計 (A)		千 円	29	109	132	38	89	33	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	200	200	200	200	200	200	
		人件費計 (B)	千 円	800	800	800	800	800	800	
		トータルコスト(A) + (B)		千 円	829	909	932	838	889	833
活動指標		ア	回	3	5	5	3	5	5	
		イ	回	1	0	1	2	0	0	
		ウ								
対象指標		カ	人	43,209	42,575	42,158	41,684	41,334	40,537	
		キ								
		ク								
成果指標		サ	人	7	4	5	9	4	8	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0021	事務事業名	自衛官募集事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

自衛隊法第97条及び地方自治法第2条に規定する法定受託事務として、市町村が処理すべき事務として定められている。なお、昭和35年5月、チリ地震津波により大きな被害を受けた当市は、自衛隊の献身的な復旧活動によりいち早く復興した。これをきっかけとして、自衛隊活動に協力する機運が高まり、翌昭和36年、自衛隊大船渡協力が発足している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

当市の場合、自衛隊入隊者も、例年、他の地域と比較して少ない。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

自衛隊の広報行事、特に艦艇広報や音楽隊演奏会は人気があり、市内外から多数の来場者がある。継続開催を希望する声が多い。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市の政策体系に直接結びつくものではないが、自衛隊への理解を深め、自衛隊活動に積極的に協力することで、自衛隊とのつながり、信頼関係が強くなる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 自衛隊法及び地方自治法に定める市町村が処理すべき事務であり、市が担当すべき事務である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ より多くの自衛隊入隊者を募るため、多くの市民に自衛隊への理解を深めてもらうことが目的である。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 事業の成果が直ちに目に見える形で表れるものではない。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 自衛隊入隊者が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 大船渡自衛隊協力を、自衛隊大船渡父兄会等、市内自衛隊関係機関と連携して事業を展開しており、今後とも連携していかなければならない。法定受託事務として、類似事業との統廃合はできない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 法定受託事務として、国の委託金を受けて事業を展開している。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 事業量は年ごとにばらつきがあり、民間委託はできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 国委託金だけで事業を実施している。自衛官の募集、艦艇広報等の事業実施に当たっては、自衛隊に対する理解を深めるため、広く市民に広報し、多くの参加等呼びかけている。

事務事業ID	0021	事務事業名	自衛官募集事業
--------	------	-------	---------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業の成果、結果が直ちに目に見える形で表れるものではないことから、地道な息の長い事業展開が必要である。 平成20年度は、海フェスタの開催などによる艦艇広報や大湊音楽隊の演奏会の開催などの相乗効果もあり、9人の入隊者があった。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後とも継続して市民への広報、周知に努め、地道な息の長い事業展開をする。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 自衛隊入隊者が他地域に比較して少ない傾向にあり、自衛隊に対する理解を深めるとともに、受験者対象者への周知に努めていかなければならない。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	総務課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がされている。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後においても、継続して広報等に努めることが肝要である。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
